

厚生文教委員会報告書

平成30年8月27日

備前市議会議長 立川 茂 殿

委員長 中西 裕 康

平成30年8月27日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	備 考
1 介護福祉についての調査研究 ① 大ヶ池荘について	継続審査	—
2 教育行政についての調査研究 ① 教育施設について	継続審査	—

<報告事項>

- ICocaカード購入補助について（市民協働課）
- ICocaサービス利用開始記念式の開催について（市民協働課）
- 日本遺産無料シャトルバスについて（市民協働課）
- 備前市営バス定期乗車券の料金見直しについて（市民協働課）
- 「家でも学校でもない第三の居場所」事業について（子育て支援課）
- 旧神根小学校の跡地利用について（教育振興課）
- 伊部地区幼保一体型施設整備事業の契約変更について（教育振興課）
- 備前市立備前焼ミュージアム設置条例の改正について（文化振興課）

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
報告事項	2
閉会中の継続調査事件	9
1. 介護福祉について	9
2. 教育行政について	11
閉会	13

厚生文教委員会記録

招集日時	平成30年8月27日（月）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会　～	午前10時23分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	閉会中の開催		
出席委員	委員長	中西裕康	副委員長	青山孝樹
	委員	橋本逸夫		守井秀龍
		沖田　護		西上徳一
		森本洋子		星野和也
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	立川　茂		
	委員外議員	なし		
	紹介議員	なし		
	参考人	なし		
説明員	市民生活部長	今脇誠司	市民協働課長	杉田和也
	保健福祉部長 兼 福祉事務所長	山本光男	社会福祉課長	丸尾勇司
	子育て支援課長	眞野なぎさ		
	教育部長	川口貴大	教育振興課長	大岩伸喜
	幼児教育課長	波多野靖成	文化振興課長	田原義大
傍聴者	議員	尾川直行	土器　豊	
	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○中西委員長 それでは、皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は8名でございます。定足数に達しておりますので、これより厚生文教委員会を開会いたします。

本日の委員会は、介護福祉についての調査研究及び教育行政についての調査研究を行います。以前より委員各位より御要望のありました市内公共施設の現地視察について、事前に関係部署と調整させていただいております。委員会閉会後の実施を予定しておりますので、御承知をお願いしたいと思います。

それでは、調査に先立ち、執行部からの報告をお受けいたします。お願いいたします。

***** 報告事項 *****

○杉田市民協働課長 市民協働課から3点御報告させていただきます。

まず、お手元の資料をごらんください。

1枚目のJR西日本が販売するICOCAカードの購入補助についてでございます。

趣旨といたしましては、JR西日本では利用者の利便性向上のためICOCA利用エリアの拡大を進められており、本年9月15日より山陽本線、赤穂線の岡山、兵庫両県未接続エリアの全ての駅でICOCAサービスが利用開始となります。これを受けて、市民のJRに対する関心を喚起し、外出時におけるJRの利用を促進することを目的として、ICOCAカードの普及に係る購入費用の一部助成を行いたいと考えております。

対象者は、備前市の区域内に居住し、住民基本台帳の規定により記録されている者で、小学校就学前の乳幼児を除くといたしております。

補助金の額のほうは1人当たり1,000円、補助金の対象となる経費はICOCAカードの購入に係る費用とし、デポジット料金、いわゆるカードの発行の際の預かり金をいいますが、そちらを含みまして2,000円以上のカードを購入するものとし、領収書の発行を受けなければならない、申請の回数は、補助金の申請は補助金の交付を受けようとする平成31年3月31日までの1回限りとする、予算といたしましては負担金補助及び交付金で500万円、それから通信運搬費で41万円で、今年度の9月補正で対応を予定しております。

また、ICOCAサービス利用開始をお祝いしまして、9月15日には上郡駅でJR西日本主催の記念式典とイベントが開催されるほか、備前市におきましても、西片上駅と日生駅と吉永駅におきまして地元町内会主催によるお祝いの記念式が開催されることをお伝えします。

続きまして、日本遺産無料シャトルバスについての御報告になります。

資料のほうは、2枚目のシャトルバス試行運行のチラシになります。

本年8月4日土曜日より、備前焼ミュージアムと旧閑谷学校を結ぶ無料シャトルバスの運行を開始しております。まず、委員会への報告がおくれましたことをおわび申し上げます。シャトルバスにつきましては、これまで備前焼ミュージアムと、瀬戸内市にございます備前長船刀剣博物

館を結んで運行していましたが、利用者の低迷により本年3月末をもって運行を休止しておりました。ただし、本市の観光振興のためにも、備前焼ミュージアムと旧閑谷学校を結ぶ路線に変更して運行を再開することを検討してまいりました。このたび、関係機関と事業者の皆様の御理解と御協力によりまして、運行を開始する運びとなりました。運行は、年末年始及び休館日を除く土曜、日曜、祝日。運行本数は、1日3往復で運行しております。利用対象者は各施設の入場者とし、広報につきましては各施設と伊部駅にチラシとポスターを掲示していただくほか、ホームページ、入場券販売窓口での周知を図っております。また、利用特典として、備前焼伝統産業会館のお買い物割引券を進呈しております。

続きまして3点目、備前市営バス定期乗車券の料金見直しについてです。

資料のほうは3枚目になります。

左側のページにつきましては、市営バスの現行料金、それから払い戻し制度の現行の制度、それから下のほうに料金の改正案と料金の払い戻しの改正案を載せております。

右ページをごらんください。

まず1番、バス定期乗車券の現状と課題といたしまして、①バス定期券購入件数、購入金額の低迷。平成28年度実績で延べ7人、46万9,000円で、使用料収入の約3%、平成29年度は延べ8人で、37万2,000円の収入で、使用料収入の約2%となっております。②バス定期乗車券料金の割高感。バス定期乗車券の料金は、民間バス会社の例により設定しておりますが、他の公共交通機関、例えばJRと比較しますと割高感があります。また、現行のバス定期乗車券の購入は、路線ごとに購入することが必要となっているため、利用に当たり市営バスを乗り継ぐケースでは複数のバス定期乗車券を購入していただくことになり、さらに割高となってまいります。③バス定期乗車券の払い戻し対応といたしましては、現行では利用者の都合による払い戻しには応じていないということがございます。

そこで2番で、バス定期乗車券の見直し案といたしまして、①バス定期乗車券料金の割高感払拭のため、乗り継ぎにも対応したフリー乗車券とする。また、一般の定期乗車券についてはJR並みに料金を引き下げ、新たに設ける高齢者フリー定期乗車券と学生フリー定期乗車券は、さらに料金を下げたものとする。②定期乗車券払い戻しにつきましては、現時点では利用者からの苦情等は受けておりませんが、定期乗車券の利用を促進し、利用者に安心して購入していただくためには払い戻し制度を設けることが必要と思われます。バス定期乗車券の算出式をその下に設けております。利用モデルの設定といたしまして、高齢者は1カ月当たり10日間の利用、一般の方は1カ月当たり20日間の利用、学生の方も1カ月当たり20日間の利用を想定して、それぞれ高齢者の方が4,000円、一般の方が8,000円、学生の方が学割を含めて4,000円の設定をいたしまして、その下の表で一番右にあります基準額(B)のところはこちらの数値を入れております。そこに、定期券の割引率(A)、1カ月でしたら60%、3カ月でしたら55%、6カ月でしたら50%の割引率を掛けまして、その左隣、料金案(A)×(B)のとこ

ろに今回の料金設定のほうを設けております。

私のほうからは以上でございます。

○眞野子育て支援課長 2月議会で市長が少し答弁させていただいているところではありますが、子供の貧困対策事業について子育て支援課から御報告をさせていただきたいと思っております。

子育て支援課では、子供の貧困対策の一環として、「家でも学校でもない第三の居場所」づくり事業に取り組む予定としております。

プリントをごらんください。

この「家でも学校でもない第三の居場所」とは、日本財団が着手した子供の貧困対策プロジェクトで、生活困窮世帯や家庭環境に問題のある世帯など、課題を抱える児童にアウトリーチ、いわゆる手を差し伸べるというような意味なんです。それを行い、生活習慣の形成や学習支援をすることによって、貧困の連鎖を断ち切り、自立した人格形成につなげようとする目的で、全国に100カ所開設しようとするものです。

B&G財団は、日本財団と連携して、この「家でも学校でもない第三の居場所」をB&G海洋センターの所在する自治体に展開しようとしており、備前市でもこのような場所づくりの必要性を感じ、取り組むべき課題としていることから、募集に手を挙げさせていただいているところです。「家でも学校でもない第三の居場所」開設及び運営に係る費用が補助率100%で助成される事業でございます。今回、市では、寒河コミュニティセンターの東隣にある旧J A福河の建物にこの居場所をつくることを計画しております。この事業には、地域の協力が必須であり、地域の特性を生かした運営をすることとされています。寒河コミュニティ推進協議会並びに各種団体の御協力をいただく予定としております。

「家でも学校でもない第三の居場所」の候補地としております旧J A福河でございますが、建物が旧耐震基準の昭和54年12月の建築となっており、耐震性があるかどうか不明な状態でございます。B&G財団の助成が決定されますと、改修費用が設計費込みで約3,500万円と3年間の運営費を助成していただけることとなります。大規模な改修を行うに当たり、耐震診断が必要と考え、9月補正で耐震診断費用を計上させていただく予定としております。よろしく願いいたします。

現在の状況でございますが、B&G財団におきまして、改修の内容及び事業の内容について審査を行っていただいている状態でございます。

子育て支援課から以上でございます。

○大岩教育振興課長 教育振興課から2点御報告させていただきます。

1点目、旧神根小学校の跡地利用について御報告させていただきます。

お手元のA4判の資料をごらんください。

貸付先は、障害児を対象とした放課後預かり保育を行う児童福祉施設を開所する一般社団法人リエゾンで、無償貸し付けを考えております。下から2項目めの備考欄のとおり、送迎つきで定

員10名の預かり保育を通じて学校就学中の障害児に対して放課後や夏休み等の長期休暇中において生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することを目的としております。また、地域とのふれあい事業などを通じまして、地域の活性化にも貢献できればと計画しております。今後の予定といたしましては、9月中旬に一般社団法人リエゾンと貸付契約を締結し、来年4月の開所に向けて準備していく予定です。

続きまして、伊部地区幼保一体型施設整備事業について御報告させていただきます。

来年4月の開所に向け、現在工事を進めているところですが、設計内容の見直しが必要となっております。見直しの1点目は掘削土の改良と地中障害物撤去工事に伴うもの、2点目は園関係者との協議により、園児のよりよい生活環境を整備するための家具の仕様変更、遊戯室、保育室の内装及び建具の仕様変更に伴うもの、3点目は外構工事として舗装及びフェンス等の仕様変更、園庭等の整備内容の見直しに伴うものでございます。このたび施工数量が確定いたしましたので、増額の変更契約につきましてこの9月定例会で上程させていただく予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○田原文化振興課長 文化振興課より御報告させていただきます。

資料はございませんが、口頭で報告させていただきます。

備前焼ミュージアムの活用に関してでございますが、次期定例議会におきまして、条例改正案を提案させていただきたいと思っております。改正内容につきましては、備前焼ミュージアムの4階部分展示室を一般に貸し出しができるように規定を整備するものでございます。

現状及び改正する理由等につきましては、現在委員の皆さん御承知のとおり、備前焼ミュージアムでは備前焼など、陶芸を中心とした美術品等を展示しております。ミュージアムの自主事業として、主に1、2階部分を活用しまして、年4回程度の企画展等を実施し、それ以外の期間は常設の備前焼展示等を行っております。また、3階部分については、人間国宝、また県無形重要文化財登録作家の作品を展示しております。4階部分につきましては、物故作家の作品を主に常設展示をしている状況でございます。このたび備前焼ミュージアムの4階部分展示室を一般に貸し出しできるようにして、施設の有効活用を図るとともに、さまざまな芸術文化に触れる機会の提供及び入館者の増加につなげてまいりたいと考えております。次期9月の定例議会に議案として提案いたしますので、その折には御審議のほどよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○中西委員長 ただいま報告が終わりました。

ただいまの報告について質疑がある方の発言を許可いたします。

○沖田委員 ちょっと何点か。きょうは時間の関係もあるので、簡潔にお願いします。ミュージアムの無料シャトルバス、この車は市の所有なのかどうか、運行コストも含めてどれぐらい精査したのかということ。それから2点目に、この「第三の居場所」、何で寒河コミュニティにと

なったのか、合理的根拠を教えてほしいと。子供が一番多いのは、伊部とかそのあたりだと思うんだけどなぜなのか。合理的にお願いしますね。それから、陶芸美術館4階を貸し出す。耐震ないですよ。0.31ぐらい。耐震がないものを民間に貸し出して、誰が責任をとるのか、市がとれるのか。その3点お願いしたい。

○杉田市民協働課長 こちら、シャトルバスにつきまして報告がおくれたこと、重ねておわび申し上げます。こちらにつきましては、当初9月の運行開始を想定しておりましたが、もう少し早めたほうがいいという御意見もございまして、8月4日のスタートになっております。こちらにつきましては、議長様、それから副議長様と委員長様のほうには一応連絡のほうはさせていただきました。それと、バスにつきましては、市の所有のバスになります。コストにつきましては、賃金といたしまして75万4,000円、燃料につきましては9万5,000円の予算を組んでおります。

○眞野子育て支援課長 なぜ寒河を選んだかということでございますが、まず1点目、寒河地区はコミュニティー組織がしっかりとしており、地区としての協力が得られやすいと考えられること。2点目、3年間の運営費の助成が終了した後も、放課後児童クラブの運営と一体化して事業を継続していけると考えたことでございます。

○田原文化振興課長 耐震化に問題がある建物の貸し出しについてでございますが、耐震化あるなしにかかわらず、施設の瑕疵を起因とすることにつきましては市に責任があるということになると思います。

○沖田委員 余り合理的回答がないので、きょうは時間の関係で再質問1個だけにします。別に寒河じゃなくても伊部もコミュニティーはしっかりしてますし、何カ所か並べてこういう理由で、良い理由、悪い理由もあって、要点をまとめて、点数でもつけて、ここで申請するんですよというのが、僕、前市長から見てるんだけど、決め方がいかにもわかりにくい、合理的でない、それはやめにやあかん。きちっと各地区を精査して、分析表をつくって、こうだからこうで、ここが一番得点も高いのでということをしなきゃ。そういうところを指摘しておきます。また一般質問でもさせていただきます。

○守井委員 私も何点かちょっとお聞きしたいと思います。

まず、第1点。B&Gの事業としてやられるということで、B&Gが所在するという事は旧吉永町が所在しておったということで対象を備前市全域で考えたんだろうと思うんですけども、先ほどもあったと思う、実際子供食事何とかという、今、伊部でやられてるという話は聞いてるんですけども、なぜ寒河かと。子供たちが実際、いわゆる食事の提供を受けておる実態というものがほんまにあるのか、寒河地区でそういうものがあるのか。伊部のあたりで実施しておるのが実態だろうと思うんですよ。吉永でもというような話もあるんかもしれませんが、実際そういう話はまだ聞いてないんで、教育委員会の関係があるんかもしれませんが、そういう実態を把握しているんかどうか、子ども食堂をやって子供たちが来れるのかどうか。まず第1点お聞き

したいというふうに思います。そして、なぜ耐震のない場所を選んだのか。耐震の費用をかけなくても済むような場所があるんじゃないかと思うんですけども、その点もあわせて2つね。

それから2点目、伊部の認定こども園の関係で、変更が入るといようなことなんですけど、設計の間違いとかが、それまでの過程の間違いとかが、そうじゃなくて、実際にこうやっていった上での変更だということの予定があるということなのかどうかの再確認ですね。施工数量について変更があったきちつとした理由、明確なものについての変更があったかどうか。その点の再確認ですね。

それから3点目、備前焼についてなんですけど、4階部分を改修するという話、貸し出しするようにするということなんですけれども、どういうふうに何を変えようとしているのか、3点お願いいたします。

○眞野子育て支援課長 まず、子ども食堂の実態はあるのかということでございますが、現在私どもが聞いておりますのは、伊部の備膳バルさんで月に何回か食事の提供を行っているという話を聞いております。ほかは特に聞いておりません。申しわけありません。

それから、耐震費用をかけない場所はなかったのかということでございますが、運営費が3年間頂戴できるんですけども、その後、単市もしくはどこか補助金がいただけるところとかの補助を得ながら運営を続けていくということが条件にございました。それを考えますと、現在放課後児童クラブをやっているところと一緒に一体化して運営していくことが一番適当ではないかと考えまして、そういう建物が寒河の旧J A福河だったということでございます。

○大岩教育振興課長 伊部地区の幼保一体型施設の契約変更でございますけども、業者のほうに数量の確定ということでずっと依頼していましたが臨時議会には間に合わなかったんですけども、ここでも出てきましたので9月定例に確定後ということで上程させていただく予定としております。設計上、園関係者の意見とか新たに出てきたものと、外構関係でいいますと備前中学校のプールの解体に伴います周辺の設備で新たな数量が確定しましたので、ここで上程させていただく予定としております。

○田原文化振興課長 備前焼ミュージアムの4階の活用の件ですが、陶芸作品はもちろんですが、それ以外の絵画であるとか書であるとか、そういった美術的な価値を有するもの、これらについて一般の方が展示発表できるような機会を設けるということでございます。

○守井委員 修繕とか改修とか、そういう形のものじゃない、ただ条例的に変えるというだけの話ですか。

○田原文化振興課長 はい、現在のところはそういった形です。修繕につきましては、今ある修繕費の中で幾らか対応してまいりたいと考えております。

○守井委員 寒河で子ども食堂をやるという話なんですけど、実態がないというふうなお話なんですけど、それは伊部から寒河まで来てもらうんですか。いかがですか。

○眞野子育て支援課長 実際運営を始めますと、送迎を行う予定としております。

○守井委員 非常に難しいんじゃないんかと思うんで、伊部のほうで検討するようによく考えたほうがいいんじゃないんかと思うんで、再検討をよくしてみてください。それだけお願いしときます。

○森本委員 その居場所づくりのことなんですけど、耐震診断をこれからということなんですけど、耐震がなかった場合の後の対応はどういうふうにされるんですか。

○眞野子育て支援課長 現在、放課後児童クラブも利用している建物ですので、耐震がなければ補修をする必要があると思います。改修をするときに設計を行うわけなんですけど、そのときに耐震補修をつけた設計をしていくつもりでございます。

○森本委員 その3, 500万円の改修費からは出ないということですよ。

○眞野子育て支援課長 耐震補強の部分は市が負担すべきという回答をいただいております。

○森本委員 わかりました。ICOCAなんですけど、これ、9月から変わるのわかってたんですけど、ここから出てくるのが、私、時期的にも遅いと思うんですけど、もう少し早目にはできなかつたんですかね。

○杉田市民協働課長 ICOCAカードにつきましては、以前からこちらのほうでも把握しておりました。時期が遅くなったわけなんですけども、以前オリジナルカードというお話もございまして、そちらのほうとどちらにするかという検討をしておりました。ここでやはり購入補助のほうがいいだろうということで、今回遅くなりましたけども提案させていただきました。

○森本委員 周知の方法だけ教えてください。

○杉田市民協働課長 広報紙等でお知らせになるかと思います。

○森本委員 高校生とかの利用が多くなると思うんですけど、駅とかへの張り紙とかは考えておられないですか。

○杉田市民協働課長 駅への張り紙も効果的とは思いますが、例えば備前緑陽高校の生徒であれば、直接高校にお邪魔させていただいて、補助金申請の御案内のほうをさせてもらうという方法も考えております。

○森本委員 備前市の高校生は、緑陽生よりは市外へ行かれる方も結構多いので、その辺また検討してみてください。

○星野委員 同じくICOCAカードですが、来週から2学期が始まるわけですが、このICOCAカードの利用エリアとか購入方法等の周知というのはJR任せなんですか。備前市はタッチでしょうか。

○杉田市民協働課長 ICOCAカードの利用開始につきましては、この後に東備西播自立圏の協議会のほうで啓発ののぼりとかを各駅のほうに設置させてもらいたいと考えております。

○星野委員 先ほど森本委員からも指摘があったんですけど、9月での補正予算では遅過ぎるんじゃないかという意見がありましたが、これ、9月15日から利用開始が始まるわけです。この補正が通ったとしても10月以降の申請になると思うんですけど、事前に購入した場合というのはど

ういう対応をとられるんでしょうか。

○杉田市民協働課長 現時点では確定ではございませんが、9月15日が利用開始ということでございますので、9月15日以降の領収書のほうで確認させていただこうとは思っております。

○星野委員 現在の駅舎の管理を委託している駅が数カ所あると思うんですが、その対応というのは今後どう考えられているのかちょっとお教えてください。

○杉田市民協働課長 駅舎の管理につきましては、当課ではなく契約管財課になると思うんですけども、そちらのほうですと把握しておりません。

○守井委員 旧神根小学校の件なんですけれども、一般社団法人リエゾンという名前なんですけど、一般社団法人リエゾンというのはどういう事業内容で、どんな方がやられてるんか説明してもらえますか。

○大岩教育振興課長 一般社団法人リエゾンの代表者は、亀楽荘の理事長であります岡本富美子さんです。この方が3人の保育士と専門的指導員等3人で運営しております、18歳未満で、実際に小学校とかで放課後児童保育に通えない障害のある子供を預かっていただく施設でございます。県の認可を受けまして実施される事業でございます。確定ではございませんが、将来的には社会福祉法人をとりまして、A型就労施設を目指しておると聞いております。野菜づくりとか、木、自然、動物とのふれあい活動、創作活動、掃除、料理等を通じまして地元でその子供たちを育てていくということで、地元からの賛同もいただきまして、今後事業を展開していく予定としております。

○守井委員 設立はいつごろですか。

○大岩教育振興課長 法人登記のほうはもうできると思うんですけども、開所は来年の4月を予定しております。

○守井委員 一般社団法人リエゾンの設立年月日はいつになってますか言うん。

○大岩教育振興課長 日にちまでは把握しておりませんが、今、司法書士さんのほうに頼んで法人登記のほうを進めていると伺っております。それが確定いたしましたら契約のほうに移行させていただこうと考えております。

○守井委員 まだ、そしたら正式に認可されてないんですね。

○大岩教育振興課長 県のほうの正式な認可はまだ承っておりません。

○守井委員 あくまでも予定ということですね、これは。

○大岩教育振興課長 予定ですけど、ほぼ100%認可はいただけると聞いております。

○中西委員長 ほかにございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、報告事項を終わります。

報告を終えた説明員は御退席ください。

***** 介護福祉についての調査研究 *****

それでは、調査研究に入ります。

介護福祉についての調査研究及び教育行政についての調査研究を行います。

本日は、備前市特別養護老人ホーム大ケ池荘、日生西小学校、クリーンセンター備前、吉永認定こども園の4施設の視察を予定しておりますが、まず委員の派遣についてお諮りをいたします。

本日の委員会閉会后、委員全員をこれらの4施設に派遣することに、皆さん、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。それでは、そのように決定し、直ちに委員派遣を要求します。なお、視察は議会公用車で行くことといたします。

それでは、クリーンセンター備前を除く視察先の概要について順次説明をお受けいたします。

○丸尾社会福祉課長 それでは、大ケ池荘について説明をさせていただきます。

まず、資料のほうをごらんください。

大ケ池荘は、特別養護老人ホームとして、入居定員が50人、入居室総数が15室で、昭和58年5月に開設をし、現在35年経過しております。また、デイサービスにつきましては、昭和63年3月に開設をしております。この運営につきましては、指定管理により社会福祉法人備前市社会福祉事業団が運営を行っております。施設の概要につきましては、開設時に作成をされたパンフレットの一部をコピーしておりますのでごらんください。

次に、現在の状況ですが、資料1大ケ池荘の利用者の状況をごらんください。

現在、利用者は男性が10人、女性が40人で、合わせて50人の方が入所されております。そのうち備前市の方は、男女合わせて46名となっております。次に、年齢別でございますが、69歳から103歳の方が入所されており、平均年齢は86.7歳となっております。

次に、裏面のほうをごらんください。

短期利用者の年度別の状況でございますが、利用者は年々減少傾向にあります。平成29年度の年間利用者は61人、延べ日数が531日で、昨年に比べて利用者は28人、延べ日数は135日減少しております。平成27年度に比べますと、利用者は48人、延べ日数は176日減少をしております。次に、平成29年度のデイサービスセンターの利用状況についてでございますが、登録者数が34人、男性が8人で、女性が26名となっております。年間延べ利用者人数は4,061人で、1日平均が13.9人となっております。平成30年度は、デイサービス事業を蕃山荘と統合して運営を行っております。1日の平均利用者は、4月が19.4人、5月が20.5人、6月が21.1人となっております。

次に、資料2大ケ池荘の年度別の収支内訳書をごらんください。

下から2番目が大ケ池荘の収支の差額となっております。一番下の欄につきましては、大ケ池

荘と蕃山荘の収支差額の合計を入れております。平成29年度は、2,938万4,000円の赤字という状況になっております。

簡単ですが、大ケ池荘の状況について説明をさせていただきました。

○中西委員長 ただいまの説明について質疑がある方の発言を許可いたします。
よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、介護福祉についての調査研究を終わります。

***** 教育行政についての調査研究 *****

○中西委員長 次に、教育行政についての調査研究に入ります。

○大岩教育振興課長 それでは、午後からの視察に関しまして、私のほうから小・中学校におけるフューチャールーム、空調、トイレの整備状況について御説明させていただきます。

お手元の資料、平成28年度、フューチャールーム整備状況一覧をごらんください。

教育委員会では、子供たちのコミュニケーション能力や発表能力など、未来に必要となる力を高めることを目指し、双方向授業、共同学習の実現に向け、1人1台のタブレット配付、複数の投影スクリーン、移動が容易な可動式の椅子、机などの、アクティブ・ラーニングを実現する学習環境としてフューチャールームを平成28年度に全小・中学校に整備いたしました。より一層わかったと実感できる授業づくりの一手段としての利用を考えており、市、岡山大学、株式会社ベネッセコーポレーションが産官学連携協定の中でそれぞれの持つノウハウを生かしながら学力向上に向けた授業を計画し、実践しております。事業費につきましては、総額約1億6,700万円となっており、財源は全額ふるさと納税を充当しております。

続きまして、お手元の資料、空調（冷房）設備設置状況調査結果の表をごらんください。

期日が平成29年4月1日現在となっておりますが、30年度版は現在県のほうで策定中がございます。備前市の数字は、昨年とは変更ございません。本市では、例年のように最高気温の更新や猛暑日が連続で伝えられ、以前にも増して良好な学習環境の確保が求められる中、学校での暑さ対策として、平成27年度に全小・中学校の普通教室と、使用頻度により一部の特別教室にエアコンを整備いたしました。事業費といたしましては、総額約2億1,500万円となっております。財源は、全額ふるさと納税を充当しております。

続きまして、お手元の資料、乾式トイレ及び洋式便器整備状況をごらんください。

本市では、児童・生徒の生活環境の変化、衛生面、良好な学習環境の確保のため、平成28年度に洋式化されておらず、使用頻度の高いトイレについて、学校の意見を聞きながら洋式化の改修を実施しました。洋式化率は、全トイレ数480基のうち341基となっており、71%となっております。事業費につきましては、総額約2億9,800万円となっており、財源は全額ふるさと納税を充当しております。

○波多野幼児教育課長 それでは、本日視察にお越しいただきます吉永認定こども園について御

説明申し上げます。

吉永認定こども園は、保育室10部屋、遊戯室、一時保育室、特別保育室、子育て支援室の各1部屋で、定員185名の施設になります。建築概要は、平家建て一部2階建て、鉄骨づくり、一部鉄筋コンクリートづくりで、延べ面積は1,845.45平方メートルの建物になります。

A4判で吉永認定こども園の事業概要というものをお配りしております。構造規模につきましては、そちらのほうに記載しているとおりでありまして、この園の認可定員は185名であります。事業費につきましては、合計7億5,806万2,000円でございます。その内訳は用地取得費から外構工事費まで内訳のほうを記入をさせていただいております。

経緯につきましては、平成19年2月に今後の就学前教育のあり方について備前市次世代育成支援対策会議検討部会から全市において地区別の新しい形態構想案で、老朽化等に伴う施設整備とあわせ、早い段階で備前市は幼保一体施設による運営に移行する必要があるということが提出され、平成22年4月の伊里認定こども園を皮切りに、片上、三石と幼保一体型施設整備に取り組み、その次に吉永認定こども園が平成29年4月開園となりました。本こども園については、合併前の旧吉永町におきまして旧病院跡地で整備する方針が決まっておりましたが、平成22年12月、諸般の事情によりまして、事業地を含めて建設が白紙決定されております。しかしながら、吉永幼稚園が耐震基準を満たしていないことから、早急に施設整備をする必要があり、新たな候補地を選定する中で、山陽本線吉永駅に近く、県道にも面し、利便性が高いこの地が新しいこども園の用地として最も適していると判断し、施設整備を進めることになりました。事業は、平成26年度に用地取得を行い、平成28年3月に工事着手し、平成29年2月末に完成しております。

園の概要につきましては、A3裏表で備前市立吉永認定こども園要覧というのを資料として用意させていただいております。現在の園児数は、ゼロ歳から5歳まで122名の在籍でございます。A3のページの一番最後に、園舎の平面図を載せております。職員室から始まり、乳児保育室、1歳から5歳までのそれぞれの部屋、それから2階につきましては屋外遊技場にプールのほうを設置しており、その隣が遊戯室となっております。保護者等の満足度調査は、毎年備前市内は各幼・保全で実施することとなっております。平成29年度の満足度は92.5%の保護者の方から満足というような御回答をいただいております。

○沖田委員 1点だけちょっと教えてください。これ、事業費はわかりますか。ここは、カルシウムか何か出て追加してますよね。同じことが何回も起きるんで、1点だけ聞いときたい。つまりカルシウムは撤去しなければよかったんじゃないかという説と、かかった費用、この2点を教えてほしい。

○波多野幼児教育課長 撤去のほうにつきましては、設計業者、それから県とも協議いたしまして、これは撤去すべきということで追加の工事をさせていただいております。工事費につきましては、建築工事費に追加ということで、こちらの事業費は最終決算費を計上させていただいてお

ります。

○**沖田委員** 金額を教えてください。

○**波多野幼児教育課長** 申しわけございません。ちょっと今、金額のほうが手元にございませんで、視察時のときに公表させていただきます。

○**沖田委員** 結構です。

○**星野委員** 空調の設置状況についてですが、まちづくり応援基金を活用して27年度に整備した教室というのは、普通教室のみに限られていたんですか。ちょっとお教えてください。

○**大岩教育振興課長** 普通教室のみでなく、特別支援教室、それから中学校では理科室、音楽室が主なところでございます。

○**星野委員** きょういただいた資料によりますと、小・中学校の備前市の特別教室のエアコン設置率が29.1%となっていますが、設置する教室と設置しない教室というのはどういう基準で決められたんでしょうか。

○**大岩教育振興課長** 先ほども使用頻度と申し上げましたけども、中学校でいえば音楽室と理科教室は全中学校に設置しておりますが、小学校でいえば音楽室とか理科教室とかというのは設置してないということでございます。体育館につきましては、どこの体育館もクーラーの設置はいたしておりません。

○**星野委員** 残りの特別教室の70%が設置されていないわけですが、今後この整備についてはどのようにお考えなのかお教えてください。

○**大岩教育振興課長** その分母の中に実際に使用しない教室もございまして、例えば伊里中学校の教室とかが分母の中に含まれていますんで、数字的にはちょっと低く抑えられているんですけども、今後文科省のほうの補助金を今概算要求でブロック塀とあわせて上げているということで、その財源の見込みと、学校の御意見を聞きながら必要なところはしていきたいと考えております。

○**星野委員** 分母の中に使っていない教室も含まれてる数値が、29.1%になってるんだという話なんですけど、備前市独自で、使ってる教室にもかかわらずエアコンの設置がなされていない教室数というのを、また後日でいいんで何教室あるかを出していただければと思います。お願いします。

○**大岩教育振興課長** はい、後日出させていただきます。

○**中西委員長** ほかによろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、本日の介護福祉並びに教育行政についての調査研究を終わります。

以上で厚生文教委員会を閉会いたします。

午前10時23分 閉会